

令和3年度第3回平塚市行政改革推進委員会 意見、質問等及び回答一覧

委員名	区分	ページ	対象項目	意見、質問等	意見に対する市の考え方等
1 久田委員			平塚市公共施設等総合計画の管理見直し	「新たな管理目標は、改修費用の総額と今後10年間に想定される建て替え費用を基に算出し、今後10年間で延床面積総量の1.5パーセント相当の削減」の箇所について、下記の質問及び意見があります。	
	意見	1		どのような前提の算出をした結果、4パーセントから1.5パーセントへ変更となったのか、もう少し詳細を説明するべきと思います。	今後10年間で延床面積総量の削減の管理目標（以下「管理目標」という。）の算出方法は、次のとおりです。 （改定前） 【管理目標】 今後10年間で延床面積総量の4パーセント相当の削減 【算出方法】 計画策定後40年間の改修費用の総額とそこに支出できる費用の差額が改修費用の総額に占める割合を、施設の延床面積に置き換えて設定
	質問			上記1.5パーセントは10年間の各年の削減目標、あるいは10年間トータルの削減目標かが曖昧な感じがします。	（改定後） 【管理目標】 今後10年間で延床面積総量の1.5パーセント相当の削減 【算出方法】 計画策定後30年間の改修費用の総額とそこに支出できる費用の差額に30年間の建替費用の総額に対する今後10年間の建替費用の割合を乗じた額が今後10年間の改修費用の総額に占める割合を基に算出

委員名	区分	ページ	対象項目	意見、質問等	意見に対する市の考え方等
1 久田委員	質問	1	平塚市公共施設等総合計画の管理見直し	<p>平塚市公共施設等総合管理計画（改定）【概要】P3をみると、築31年以上経過した公共施設の半数程度は学校教育施設ですが、この対象となる年少人口（0～14歳）はP2の人口動向によれば、半減しています。（年少）教育は地域を育む大きな要素ですが、（半減とは言わないまでも）削減余地はまだあるように、一般論からは思えます。「今後40年間の学校教育施設における更新費用の試算結果」における更新費用とそれによって整備・更新される延床面積は、どの程度見込まれているのでしょうか。</p>	<p>小・中学校では、少人数指導、特別支援学級等の増加や35人学級への対応のため、教室が必要となります。</p> <p>一方、小・中学校の児童数及び生徒数は減少しており、出生数の状況から、今後もその傾向は続くと考えています。</p> <p>このことから、学校教育施設については、学校の状況に応じ、短期的には施設の改修や建替えが必要となる時期に合わせて施設の規模の縮小や有効活用等を、中長期的には学校の統合や複合化等といった施設の再編を検討していきます。</p> <p>「平塚市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）（改定）」の試算では、今後40年間の学校教育施設における更新費用は約1,387億円、整備・更新する延床面積は約295,000㎡と見込んでいます。</p>
	意見			<p>新たな管理目標（今後10年間で延床面積総量の1.5パーセント相当の削減）と行財政改革計画は、どのような関係でしょうか。</p>	<p>「総合管理計画」では、持続可能な公共施設を目指し、管理目標を設定しています。</p> <p>「平塚市行財政改革計画（2020-2023）（以下「本計画」という。）」では、優先課題に「公共施設の総量縮減による持続的管理」と実施計画に「公共施設総合的管理事業」を位置付け、管理目標の実現に向けて公共施設の総量縮減を推進しています。</p> <p>「本計画」の10ページには、管理目標を記載しており、今回の追補版では、「総合管理計画」が改定されたことから、見直し後の新たな管理目標について記載しています。</p>

委員名	区分	ページ	対象項目	意見、質問等	意見に対する市の考え方等
2 長尾委員	意見	7	BPR推進事業	<p>令和5年度の達成目標である「BPRの必要性を理解した職員の割合：95%以上」は達成度合いをどのようにして測定するのでしょうか。</p> <p>また、本取組みの最終目標は業務の効率化に結びつけることかと思えます。BPRの理解度を高めることによって得られる姿を目標として掲げてはどうでしょうか。</p> <p>業務効率化の数値目標が難しいようであれば、BPRに関する改善提案件数を指標として業務効率化に取り組む姿勢の見える化も有効かと思えます。</p>	<p>達成度合いは、研修受講者にアンケートなどを行い、BPRについての知識の習得状況や理解度を測定します。</p> <p>また、御意見を踏まえ、「目的・目標」を次のとおり修正するとともに、「成果」を追加します。</p> <p>【目的・目標】 (修正前) BPR(業務の見直し)により、効率的・効果的な業務が実施されています。</p> <p>(修正後) <u>職員がこれまでの慣行や思考に捉われない業務の在り方を意識するとともに、</u>BPR(業務の見直し)により、効率的・効果的な業務が実施されています。</p> <p>【成果】 令和5(2023)年度は、令和4(2022)年度のBPR(業務の見直し)の実施件数を上回るものとします。</p>
3 長尾委員	質問	9	窓口サービス改革事業(ご遺族サポートコーナーの設置)	<p>計画では「設置」「改善」と活動項目が設定されていますが、利用者のニーズはすでに把握されているのでしょうか。把握されているとのことであれば、どのようなものがあるのか教えてくださいいただけますか。</p>	<p>死亡に伴う手続は、今後の更なる高齢化の進展により、手続件数の増加が見込まれます。また、その手続は、健康保険、介護保険や税など多岐にわたり、各窓口での申請書等の記入や、手続漏れによる複数回の来庁など、ご遺族の大きな負担となっています。</p> <p>このことから、ご遺族の負担を軽減するため、ご遺族サポートコーナーを設置し、個々の状況に応じた手続の案内や申請書の作成補助などを行います。</p> <p>ご遺族サポートコーナーの設置後は、利用者にアンケートを実施し、満足度や運用の改善点等を把握することで、市民サービスの向上を図ります。</p>

	委員名	区分	ページ	対象項目	意見、質問等	意見に対する市の考え方等
4	岡部委員	意見	9	窓口サービス改革事業	<p>「ご遺族サポートコーナーの設置」「手続ナビゲーションの導入」は、非常に良い取り組みだと思います。</p> <p>同様に、いくつもの申請等が必要となるイベントについて、一連の手続きのパッケージ化や、チュートリアル付きで簡単にできるデジタル申請の導入等の可能性について、さらに検討をお願いします。</p>	<p>令和4年度は、「引っ越し」「結婚」「出産」「離婚」「おくやみ」「子育て（児童手当・小児医療）」の6つのライフイベントについて、手続き案内ナビゲーションの導入によるサービス開始を予定しています。</p> <p>これらの取組から得られる様々な知見を活用して、ライフイベントへの更なるサービスの拡充などを検討します。</p>
5	岡部委員	質問	10	タブレット端末活用事業	<p>タブレット端末の利用については、従来以上のセキュリティ対策が必要と思われます。起動時のパスワード管理はもちろんのこと、持ち出し使用の管理徹底、本体メモリに文書やデータを残さない（破損対策の意味も含め）、人目に付く場所に放置しない、などのタブレット端末利用を念頭に置いた、セキュリティ確保のための規定の制定と厳格運用はできていますか。</p>	<p>情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順を定めた情報セキュリティ実施手順には、持ち出し時の手続や業務後の保管方法など、必要な対応を加えました。また、情報セキュリティを確保するため、職員には、eラーニングやセキュリティ遵守状況をチェックする自己点検を実施するとともに、各課には情報セキュリティ監査を実施しています。</p> <p>さらに、自己点検や監査の結果を踏まえ、研修や啓発紙の発行による注意喚起、必要に応じた個別指導を実施するなど、ルールを遵守し、情報セキュリティを確保するための取組を継続して実施しています。</p>